

# 北九州市立松ヶ江中学校 学校通信

## 今は未来のためにある

令和8年度に高める力のキーワード  
「あいさつ」、「黙働」、「敬語」、「アンテナ力」

No.10 令和8年5月14日 発行者;校長 小倉 大二

### 【学校教育目標】

校訓「誠実・勤勉・礼儀」に則り、  
思いやりの心を持ち、  
新たな価値創造に挑戦する中で、  
母校への誇りをはぐくむ生徒の育成

## 前期の中間考査に向けて

6月の中旬に前期の中間考査が実施されます。例年、6月に考査試験を実施していました。3学期制の場合は1学期末の期末考査として「9教科(国・社・数・理・英・音・美・技家・保体)」の試験でしたが、2学期制では「5教科(国・社・数・理・英)」の試験になります。

毎年ですが、ちょうどこの時期に3年生の引退をかけた運動部の中学校体育連盟夏期大会が実施されます(大会日程については学校通信No.6に記載←学校ホームページで閲覧できます)。

ただ、学校通信No.7でお伝えしたとおり、今、高校入試の在り方が大きく変わってきており、普段の中学校の成績(通知表の評定)が大きく高校入試に影響するようになってきています。そこで、先日公表された中体連の大会日程を考慮し、3年生の全生徒が少しでも中間考査に専念できるよう、当初予定していた中間考査の日程を以下のように変更いたします。

まだ、1ヶ月以上前に通知になりますが、日ごろから日々の学習を振り返り、わからないところがあれば、先生に聞いたりネットで調べたりして、少しでもよい成績がとれるように、計画的に考査試験に向けてがんばってほしいと思います。

	変更前	変更後
前期中間考査実施日	6月22日(月)・23日(火)	6月18日(木)・19日(金)

## 考査試験への心構え(1年生の皆さんへ)

1年生にとっては、初めての中学校での考査試験になります。中学校の考査試験は、小学校の頃に受けていた業者が作成するテストではなく、先生たちが作成するテストです。高校入試を見据えた内容のテストという点で、小学校の業者テストよりもかなり難しい内容になります。

小学校の業者テストは、「全国の平均点が80点くらいになる内容」を目安につくられています。問題数も10~20問程度と少なく、配点も1問「5点」や「10点」で、そこまで予習をしなくても、授業の内容をしっかりと理解していれば、100点、また、90点以上の高得点を取りやすい内容となっています。

しかし、中学校のテストは「高校入試レベルの学習内容がどれくらい定着しているか」を目安につくられます。そのため、日々の学習の復習が必要な内容で、かつ、問題数も多く、配点が1点や2点の問題もあります。教科によっては問題数が50問を超えるため、最後まで解き終わらずに時間がくる人もいます。初めての考査試験では多くの1年生が量の多さに面食らうのが実際です。

中学校の考査試験は100点満点で、平均点が50~60点前後になることを想定してつくられます。甘く見て全員が予習を怠ると、平均点30~40点になることもあります。もちろん、100点や90点以上の高得点をとることもできますが、かなり頑張らないと取れない得点です。

「平生往生」という言葉があります。言葉の意味は「特別なときではなく、日々をどう生きるかが大切」という意味です。そして、「日々の積み重ねが、その人の人生をつくっていく」ことを教えてくれる言葉です。ぜひ、わからない内容が貯まらないよう、日々の家庭学習に取り組んでほしいと思います。

# 公立高校入試問題の移り変わり

## 【平成5年度公立入試問題(社会科)】

問題番号	配点	正答
問1	2	4
問2	2	3
問3	2	3
問4	2	4
問5	2	対応
問6	2	1
問7	2	3
問8	2	1
問9	2	(1) (2) エ ウ
(その1) 計 30 点		
問1	1	2
問2	4	1
問3	2	下関
問1	1	イ
問2	8	2 黒瀬
問3	2	4
問4	2	3
(その2) 計 30 点		
合計 60 点		

問題番号	配点	正答
問1	2	2
問2	2	エ
問3	2	石油
問4	1	4
問5	1	スペイン
問6	2	D
問1	2	2
問2	2	1
問3	2	飛騨院
問4	1	2
問5	2	2
問6	2	1
問7	1	3
問8	2	ベキン
問1	2	4
問2	6	4
(例) 石油危機がおり、原油輸入価格が高くなったので、エネルギーの節約が行われるようになったから、与えられた二つの語句を使って適切に説明していること。		
資料Ⅱの原油輸入価格の変化にふれていること。		
(その2) 計 30 点		
合計 60 点		

左の問題は今から32年前の平成5年度の「社会科」の福岡県公立高校入試試験問題の解答用紙(60点満点)です。だいたい47歳くらいの保護者の時代のテストの内容です。もしかすると、この問題で高校入試を頑張った保護者もいるのではないかと思います。

この頃は、解答のほとんどが数や記号を記入する一問一答式でした。記述式の枠も、最後に少しあるだけです。

そして、下の問題は令和7年度、つまり、今の高校1年生が受けた入試問題の解答用紙(60点満点)です。同じ社会科ですが、資料から読み取れることや自分の考えを説明するなどの記述式の解答がかなり増えています。

時代の移り変わりにより求められる学力が変わってきています。「知識」を記憶するという「理解力」よりも、記憶した「知識」を活用し、考え、説明するという「思考力・判断力・表現力」が重視されるようになりました。

**32年後**

## 【令和7年度公立入試問題(社会科)】

### 8.3 社会 正答及び配点

問題番号	正答	配点
問1	① b ㊦ c	2 両解
問2	(例) 貴族や武士から土地を取り上げ、御家人を地頭として任命する	2
問3	(例) 借金を返済しにする	2
問4	4	2
問5	(例) 営業を独占する	2 全解
問6	1 → 3 → 2 → 4	2 全解
※(小計)		12

問題番号	正答	配点
問1	(例) 地価の3%の現金	2
問2	① (例) 民衆の意見を反映する	2 両解
問3	㊦ b	2
問4	2	2
※(小計)		8

問題番号	正答	配点
問1	d	1
問2	2	2
問3	Dの州 え Eの州 う	2 両解
問4	① (例) 年間を通して気温が高く、降水量が多い	2 両解
問5	㊦ (例) 熱や湿気がこもらない	1
問6	① (例) 平均賃金が安い	2
問7	㊦ (例) はきものや衣類の割合が減り、機械類の割合が増えた	2
※(小計)		10

問題番号	正答	配点
問1	① (例) 雨や雪を降らせただ後、山脈をこえる	1
問2	㊦ (例) 平年より6~8月の日照時間が短く、平均気温が低い	1
問3	㊦ b ㊦ d	2 両解
問4	う	2
問5	(例) 歴史的な町並み(または景観)があり、それを保存する	2
問6	(例) 高速道路網が整備されたことにより、短時間で大阪市へ運べるようになった	2
※(小計)		10

問題番号	正答	配点
問1	① 条例 ㊦ a	2 両解
問2	イ 2 工 1	2 両解
問3	㊦ b	2 両解
問4	㊦ (例) 憲法に違反していないかについての最終的な決定権をもっている	2 両解
問5	㊦ a ㊦ c	1
問6	㊦ b ㊦ c	1
問7	① (例) 買う側が合意した	2
問8	㊦ (例) 情報が少ない	1
問9	㊦ (例) 商品を購入した場合、一定期間内であれば、契約を解除できる	2
※(小計)		14

問題番号	正答	配点
問1	南北問題	1
問2	(例) 無償で水道設備を整備する	2
問3	(例) 自ら水道設備の整備ができるように指導して、A国の首都の水道公社職員の水道設備の維持管理の技術が向上した	3
※(小計)		6

受検番号	※(合計)
	得点 60

解答用紙の「配点」を見ると、今も昔も1問1点や2点が基本となっています。表面にも記載していますが、高校入試の配点は多くが1点や2点です。そのため、問題数も多いのが特徴です。限られた時間、どれだけの正答を出せるか、6月の中間考査で自分の力を計ってほしいと思います。